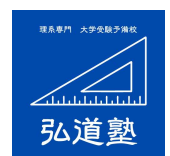


大学受験ガイドブック 基礎編



理系専門 大学受験予備校 弘道塾
TEL : 050-3199-1755

学部学科を確認しよう！

文系・理系別に学部学科を簡単に紹介します。どんな学問があるのかを確認して、進路選択の参考にしましょう

■文系学部学科紹介

人文科学系統		
文学 外国語学	文学部には日本文学科や外国文学科があります。各国の詩・小説などの文学作品を研究します。外国語学科には英米語学科や中国語学科など、言語別の学科に分かれます。外国語を習得し、その言語について研究します。	
史学	日本史学専攻 東洋史学専攻 西洋史学専攻 考古学専攻	大学では今までのような暗記中心の学習ではなく、資料収集や調査・分析に基づいて、歴史を研究・考察していきます。
地理学	地理学は大きく分けて、文化と自然の関係を研究する人文地理学と、自然の地形を研究する自然地理学に分類されます。	
心理学	人間の心のしくみや行動について学びます。認知心理学・社会心理学・臨床心理学などの分野があります。	
哲学	哲学とは、人間のあり方について考える学問です。倫理学・美学・宗教学などの分野もあります。	
社会科学系統		
法学	法学科 (法律学科) 政治学科 行政学科 政策学科 国際政治学科	法学部では、法解釈について学ぶほか、実際の裁判の判例についても研究する法学科があります。また、国や自治体の政治・行政・政策を研究する学科があります。さらに、国際秩序や国家間の政治問題を研究する国際政治学科があります。
経済学	経済学科 流通経済学科 産業経済学科 国際経済学科	「生産」と「消費」の実態を分析していく学問。企業や個人、家計の経済活動を扱う「ミクロ経済学」と国家経済の総体を扱う「マクロ経済学」があります。国際経済学科では地球規模での経済を扱います。
経営学 商学	経営学科 商学科 会計学科 貿易学科 経営情報学科	企業の運営の研究など、かなり実用的な学問。公認会計士や税理士などの資格を取得するのに有利です。最近では情報学と経営学を結び付けた経営情報学が人気です。
社会学	社会学科 社会福祉学科 コミュニケーション学科	社会学は私たち個人と社会の関係について様々な視点から解明していく学問です。高齢化に伴う福祉が研究対象の社会福祉学、対人コミュニケーションやマスコミを研究対象にしたコミュニケーション学科もあります。

■理系学部学科紹介

理学	数学科	科学の共通言語である数学そのものを研究し、高いレベルの理論的思考力を養います。応用分野として、プログラムや数値解析、統計解析を学ぶ場合もあります。
	化学科	物質の構造や性質、反応機構を研究し、有用な性質の発見・有用な新物質の合成を目指します。近年は、生物学との融合であるバイオ分野の研究も盛んです。
	物理学科	自然界の現象を支配する法則を究明する学問です。素粒子・原子核等のミクロな世界から、天体や宇宙全体に至るマクロな世界まで、研究対象は幅広いです。
	生物学科	生物の体の構造、生物の行動、生態等を解明します。地球環境まで視野に入れた環境生物学、化学との融合分野であるバイオ分野の研究も行われています。
	地学科	地球と地球をとりまく環境に関する研究を行います。地質構造や海洋の構造から、気象・火山・地震なども扱います。最近は地球環境に関連した研究が盛んです。
工学	機械工学科	機械に限らず、メカニズム全般を扱います。システム制御なども研究対象になります。
	電気通信工学科	主に電気回路や半導体・コンピュータや通信技術について研究する学問です。
	土木・建築学科	日常の生活を支える建物や道路、橋などの構造物の創造を扱う学問です。
	応用化学・材料工学科	基礎的理学を応用して、新物質の合成や新素材の研究開発を行っています。
	応用生物学科	バイオテクノロジーの研究と、それを応用した生体材料の研究を行っています。
	経営工学科	社会・企業の様々なシステムについて、効率の向上を工学的に研究します。
医学 歯学 薬学	医学科	修学期間は6年。卒業年度には国家試験を受験します。知識習得と実習でハードな6年間です。
	歯学科	歯科医を目指す人のための学科です。6年間で、歯についての専門知識もさることながら、歯科医としての技術を身に付けていきます。
	薬学科(6年制)	医薬品改良や生産・管理・人体への影響などを研究します。薬剤師になるためにはこの学科です。
	薬科学科(4年制)	医薬品改良や生産・管理・人体への影響などを研究します。
	看護学科	看護についての専門知識を学ぶとともに、社会学や心理学なども幅広く勉強します。
	保健衛生学科	病気を予防し、人々の健康を保つ方法について研究する学問ですが、臨床検査技師・理学療法士等の医療技術者の養成を行っている場合もあります。

■理系学部続き

農学 獣医学	農学科	食料と環境に寄与する農業全般が研究範囲です。最近では、バイオの農業技術への応用が盛んです。また、環境問題を研究している場合もあります。
	獣医学科	家畜やペットの病気の診断や、予防・治療について勉強します。6年間、実習や実験が目白押しです。
	畜産学科	家畜の繁殖や飼育、そして畜産経営も研究します。乳製品の製造や加工も取り扱います。
	水産学科	水産資源に関して、水産環境学等の基礎から養殖技術等まで幅広く学びます。

■文理融合学部学科紹介

どちらかといえば文系		
教育学	教員養成課程	国立大学には、学校の教員養成を目的とした教育学部や学校教育学科があります。
	教育学科	教育学科では、教育哲学、教育心理学、教育行政学など、教育全般について学びます。
芸術学	美術学科	それぞれの分野で、学問的・技術的両方の側面から学んでいきます。芸術家を目指している人が多い学部であるものの特徴です。また、演劇・映画・写真・放送学科なども最近増えてきました。
	デザイン学科	
	音楽学科	
	文芸学科	
どちらかといえば理系		
人間科学	体育学科	スポーツによる健康増進を目指して、スポーツ指導の専門家養成を行います。
	人間科学科	人文・社会・自然科学といった従来の分野にとらわれずに、人間の心理や身体全体像を解明する総合的な学問です。多角的に「人間」を勉強していくことになります。
家政学 生活科学	家政学科	家政学は、食物・被服・住居・自動・栄養に大別されます。中でも栄養学は、生物や医学の領域に関わってきます。
	生活科学科	家庭生活全般にとどまらず、生活や文化を総合的にとらえ科学的にアプローチする学問です。

Column：学部学科は絶対！？

進路を選ぶときに大学以上に学部学科の選択は悩みどころです。自分のやりたいことが決まっていれば良いですが、そうでない人も大勢います。そんな中将来を決定する選択をしなければいけない！と言われるとプレッシャーを感じる人が多いのではないのでしょうか？学部学科と進路が直結するのは国家資格の取得に特定の学部・学科の卒業が必要なケースです。（医療系や法曹系が代表的）それ以外のケースでは有利になることはありますが、絶対にその学部でなければとはならない場合もあります。自分一人で考えるのは大変ですので、プロの先生と相談しながら考えると良いでしょう。

入試の仕組みを理解しよう！

大学の受験方法にはたくさんの種類があります。それぞれの受験方法について理解することは、自分のチャンスを広げていくことにつながります。最近の傾向として、受験方法は複雑化していますが、その分同じ大学（学部・学科）を複数回チャレンジできるといったように、受験するチャンスが増えてきたといえます。入試の仕組みをしっかりと理解して、自分の受験に活かしましょう。

■入試のシステム

●国公立大学の入試方式

- ・一般入試（共通テスト＋二次試験）
- ・推薦入試（学校推薦型・総合型）

●私立大学の入試方式

- ・一般入試
- ・推薦入試（学校推薦型・総合型）
- ・共通テスト利用入試

■各入試の特徴

●推薦入試

原則として調査書を資料とし、面接や小論文等で合否の判定をします。

・学校推薦型選抜

高校の推薦を受けることで出願できる入試方式。「指定校制」と「公募制」の2種類があり、公募制にも一般推薦と特別推薦があります。

指定校制推薦	大学が特定の高校を指定して実施する入試方式。勉強や部活の成績などを評価して、校内選考が行われる。募集人数が少なく狭き門だが、出願できれば合格率は高い。
公募制一般推薦	大学ごとの出願資格を満たして、出身学校の校長から推薦された生徒が受験可能。評定平均値に基準があることが多い。
公募制特別推薦	スポーツや文化活動における実績などが評価される。評定平均値に基準があることは少ない。

・総合型選抜

大学が求める人物像（アドミッション・ポリシー）に合致しているかどうかで合否判定を行う入試方式です。通常の学力試験ではわからない受験者の意欲や適正を評価するため、内容は大学によってさまざまです。

校長からの推薦書を必要としない「自己推薦」もこの区分ですが、大学によっては学校推薦型の区分で扱っているところもあります。

●一般入試

共通テスト、国公立大学、私立大学それぞれに特徴があります。

詳しくは次ページ以降で紹介します。

受験科目選択のポイント

入試の仕組みについてある程度理解ができたなら、受験に必要な科目の選択を考えます。各学年への進学時に、高校で文系・理系のコースに分かれる場合があります。受験科目の選択は、その時点から始まっています。しかし本番に向けては、もっと細かく選択をしていかなければなりません。例えば、文系か理系での受験科目の分かれ目は、地歴公民をとるか理科をとるかです。

同時に、国公立か私立かによっても大きく違ってきます。ここで違ってくのは受験に必要な科目数です。国公立は、文系・理系にかかわらずほとんどの場合で6教科必要です。必要な科目のパターンは次ページの表1を参考にしてください。共通テストでは6教科8 or 9科目必要ですが、二次試験では1～3教科が試験として課されます。学科試験のほか、小論文や面接が課される場合もあります。

私立では、特殊な場合を除いて3教科以下です（次ページ表2参照）。理系でも理科は1科目のところが多々ありますし、文系でも地歴公民が2科目必要のところは現在のところありません。科目数を少なく、集中的に勉強したい人は私立を志望します。しかし、私立の3教科に絞ってしまうと、国公立の6教科必要のところを受験するのはかなり難しいので、志望大学・受験科目は慎重に選ばなければなりません。

●私立大学共通テスト利用入試

共通テストを利用して出願ができます。受験科目は一般入試と同じか少なくて設定しているところが多々あります。したがって一般入試の勉強をしていれば共通テスト利用も出願できることになります。しかしながら、あえて一般入試とは受験科目を変えることで、受験の枠組みを広くしているところもあります。

現在では、受験方法の一つとして、多くの大学が実施しています。共通テスト利用私大の出願締切は共通テスト実施日の前になっているところが多々あります。共通テストの結果を見てからというのではなく、共通テストの本番を迎える前に決めなくてはなりません。

また、共通テスト利用方式で募集する人数は、一般入試に比べると少なく、一般入試に比べて難易度が上がっているところもあります。

●複線入試

複線入試とは、一つの大学が複数の選抜基準を設けて、日程や受験科目を分けて実施する入試のことを言います。複線入試をうまく利用して受験のチャンスを増やしたり、自分の得意科目を最大限に生かしたりすることができます。日程や科目・配点など細かい部分をよく調べ、自分に合った方式を選択しましょう。

<複線入試の例>

大学	学部・学科	方式	教科・科目（配点）	日程(2026)
法政大学	キャリアデザイン学科	A方式	国(100)英(150)数 or 地歴公(100)	2月16日
		T日程	英(150)国 or 数(100)	2月5日
		英語外部利用	英語資格+国 or 数(100)	2月5日
		共テ B方式	国(100)英(100)数 or 地歴・公民 or 理科(100)	共通テスト実施日
		共テ C方式	国(200)英(200)数①②(200) 地歴公(100)理科(100)情報(50)	

表1) 国公立共通テストの受験パターン

パターン	受験教科・科目の組み合わせ例
理系科目重視型	国語＋地歴公民①＋数学②（数ⅠA／数ⅠIBC）＋理科②（専門2科目）＋外国語＋情報
文系科目重視型	国語＋地歴公民②＋数学②（数ⅠA／数ⅠIBC）＋理科基礎②＋外国語＋情報
科目混合型	上記の組み合わせを一部変更したパターン

共通テストの教科・科目の分類

国語：現代文3問（110点）＋古文（45点）＋漢文（45点） 合計200点・90分

地歴公民：『歴史総合、日本史探究』『歴史総合、世界史探究』
『地理総合、地理探究』『公共、倫理』『公共、政治・経済』
『地理総合、歴史総合、公共』
上記6科目から最大2科目選択（各100点）

数学①：『数学Ⅰ、数学A』または『数学Ⅰ』（各100点・70分）

数学②：『数学Ⅱ、数学B、数学C』のみ（100点・70分）
「数列」「統計的な推測」「ベクトル」「平面上の曲線と複素数平面」
の4分野から3分野を選択解答

理科：専門理科『物理』『化学』『生物』『地学』（各100点）
基礎理科『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』（2科目で100点）

外国語：「英語【リーディング】」「ドイツ語」「フランス語」
「中国語」「韓国語」（各100点）
「英語【リスニング】」（100点）

情報：『情報Ⅰ』（100点・60分） 2025年度から新設

表2) コース別受験科目例

コース	受験教科	科目の選択傾向
私立文系	外国語/国語/地歴公民 or 数学	地歴公民：歴総・日本史探究 or 歴総・世界史探究 (or 地理探究・公共・政治経済)
私立理系	外国語/数学ⅠA・ⅠB・ⅠC/ 理科1～2科目	理科：物理 or 化学 or 生物
私立農獣医・看護系	外国語/国語 or 数学ⅠA・ⅠB/ 理科1科目	理科：生物 or 化学 (看護数学はⅠAのみが多い)
私立歯・薬系	外国語/数学ⅠA・ⅠB/理科1科目	理科：化学
私立医系	外国語/数学ⅠA・ⅠB・ⅠC/ 理科2科目	理科：物理 or 化学 or 生物

Column：国公立・私立で受験科目が違う

同じ学問を勉強するはずなのに受験科目が違う。おかしい気もしますが、実際に違うパターンがあるんです。

代表的なものは「薬学部」。国立の薬学部は数学ⅠCまで必要ですが、私立の場合はほとんどの大学で不要です。文系学部でいうと「経済学部」。国公立は数学が二次試験で必須になる場合がありますが、私立では数学は必要としない科目パターンが大半です。安易に科目を絞るのは可能性を狭めるので、おススメはしませんが、科目が増えると負担が増えるのも事実です。受験科目の決定は慎重に行いましょう。

共通テストに関して

共通テストとは、大学入試センターが実施する全国统一試験のことです。

国公立大学では全国统一の「共通テスト」と各大学が実施する「個別試験（二次試験）」の結果で合格者を決定しますので、国公立大学を志望する受験生は原則として全員が共通テストを受験することになります。（一部では個別試験（二次試験）を課さないところもあります）

私立大学では各大学独自の個別試験が中心となりますが、共通テストの成績をもとに各大学で可否を決定する「共通テスト利用方式」を採用しているところも多くあります。令和7年度入試では私立大学522大学がこの方式を実施しており、広く普及しています。（出典：大学入試センター「令和7年度大学入学共通テスト実施結果の概要」2025年2月6日公表）

● 共通テストの特徴

- ・ 出題科目に高校1・2年生で履修する範囲が多く、高校の授業をきちんと理解していれば高得点が可能。
- ・ 解答はすべてマークシート方式。

● 私大受験者が共通テストを受験するメリット

- ・ 各大学の試験を受けずに出願するだけで合格判定が出る場合がほとんど。
- ・ 安全校を早い段階で確保できる。
- ・ 2月の試験に慣れるための模試的役割を果たす。
- ・ 志望大学に挑戦できる回数を増やすことができる。
- ・ 数学Ⅲが出題範囲から外れるので、数Ⅲの準備が十分でない場合は有利になる

Column：『情報』って、結局どう対策すれば良い？

2025年度から共通テストに新設された「情報Ⅰ」。保護者の皆さんには馴染みがなく、「いったい何を勉強する科目なのか」と戸惑っている方も多いのではないのでしょうか。実は高校3年生でも対策をほとんどできていない生徒が多い、現時点で最も「盲点」になりやすい科目です。

情報Ⅰの出題内容は、プログラミング・データ活用・ネットワークの仕組み・情報デザインの4分野です。難しく聞こえますが、試験で問われるのは「高校の授業で扱う基礎的な内容」に限られており、高度なプログラミングスキルは必要ありません。

ただし、「学校の授業を聞いていれば大丈夫」とも言い切れないのが現実です。学校によって授業の進度や内容の深さにばらつきがあり、共通テストレベルに対応できているかどうかは生徒によって大きく異なります。

対策の優先順位としては、国公立志望の生徒は他の主要科目（数学・理科・英語）を固めた上で、高3の夏以降に集中して取り組むのが現実的です。「情報だけで可否が決まる科目ではないが、無対策で本番を迎えるのは避けたい」というのが、受験のプロとしての率直な見解です。

学校の授業内容や模試の結果をもとに、いつから・どの程度対策するかは個人の状況によって異なります。判断に迷ったときはぜひご相談ください。

● 共通テスト受験までに行うこと

共通テスト出願についての詳細は高校生の場合は高校で説明会があり、一斉に提出をしますので、しっかりと説明を聞き、期限までに提出をしましょう。

今回は共通テストに出願した後に皆さんが各自でやらなくてはならないことを見てみましょう。

1. 各大学の募集要項を確認する

日程→国公立大学：11月上旬～ 私立大学：9月中旬～

現在はウェブでの出願がほとんどですが、一部インターネットで出願できない大学などもありますので、早めに確認しておきましょう。

2. 「受験票」等が送られてくる

日程→12月上旬～中旬

受験票と写真票に、写真と署名を行います。試験当日に会場に持参することと、国公立大学では合格手続きに必要にもなりますので、共通テスト受験後も大切に保管しておきましょう。

3. 私立大学共通テスト利用入試に出願する

日程→1月上旬～3月下旬

2ページ前でも述べましたが、共通テスト受験前に出願する必要がある大学が多いです。前もって各大学の要綱で確認しておきましょう。

Column：推薦入試と一般入試、どちらを軸にすべきか

近年の大学入試で最も変化が大きいのが「推薦入試（総合型選抜・学校推薦型選抜）」の拡大です。国公立理工系の女子枠もその大半が推薦入試の枠であり、「うちの子は推薦を狙うべきか、一般入試一本で行くべきか」と悩む保護者の方が増えています。

結論から言うと、高1・高2の段階では「どちらか一方に絞る」のは正しくありません。ただし、以下の点だけは早めに押さえておく必要があります。

推薦入試には「評定平均（内申点）の基準」を設けている大学が多いです。多くの場合「4.0以上」または「4.3以上」が出願条件となっており、これは高1の1学期から積み上げていくものです。高3になってから「推薦も受けたい」と思っても、評定が足りなければ出願すらできません。

一方で、推薦入試は「学力だけでは測れない人物像」を評価する入試であり、小論文・面接・志望理由書の対策が必要です。一般入試の勉強と並行して準備するには、早めの戦略設計が欠かせません。

「うちの子の評定で推薦は狙えるのか」「どの大学の推薦枠が現実的か」といった個別の判断は、学校の状況や志望校によって大きく異なります。気になる方はまず一度ご相談ください。

お金のこと

大学受験に関する諸費用についてまとめてあります。

●受験費用（平均的な金額）

共通テスト(3教科以上受験)	18,000 円
国公立二次試験	17,000 円
私立大（一般型 文・理系）	35,000 円
私立大（医学系）	50,000 円
私立大（共通テスト利用型）	15,000～25,000 円
私立大（共通テスト利用 医学系）	30,000～40,000 円

●国立大学初年度納付金例

入学金	授業料	初年度納入金
282,000 円	535,800 円	817,800 円

※2025 年度入学生から東京大学・一橋大学・千葉大学・東京科学大学など一部の国立大学が授業料を標準額の 120%上限まで値上げしております。

●公立大学初年度納付金例

東京都立大学	入学金	授業料	初年度納入金
都の住民	141,000 円	520,800 円	661,800 円
都の住民以外	282,000 円	520,800 円	802,800 円

横浜市立大学	入学金	授業料	初年度納入金
市内出身者	141,000 円	557,400 円	800,400 円
市外出身者	282,000 円	557,400 円	966,400 円

初年度納入金には諸会費（学術研究会入会金・生活協同組合出資金など）を含みます。

医学部は、施設整備金・「医学生総合保障制度」保険料のため上記より増額されます。詳細は大学公式 HP でご確認ください。

●奨学金について

奨学金とは在学中にお金を借り、卒業後に分割して返済する制度です。在学中の経済的負担を減らし、自分で返済すれば親にお金の心配をかけずに済みます。

お金を返す「貸与制度」と、お金を返さなくてよい「給付制度」の 2 種類があり、貸与の場合でも無利子や低金利で、偏在時の負担は通常のローンに比べると軽いものになっています。

奨学金には①地方公共団体の奨学金、②民間育英団体の奨学金・学校独自の奨学金、③日本学生支援機構奨学金があります。

●私立大学初年度納付金の平均額（単位：円）

※下表は文部科学省調査（令和3年度）のデータを参考値として掲載しています。実際の納付金は各大学・年度により異なります。最新の金額は各大学の公式募集要項でご確認ください。

関係学部		入学金	授業料	施設設備費	合計
文系	文・教育	225,770	821,813	155,794	1,203,377
	神・仏教	221,067	770,742	154,743	1,146,551
	社会福祉	216,339	782,154	170,198	1,168,691
	法・経・商	226,215	812,758	141,447	1,180,420
	平均	225,651	815,069	148,272	1,188,991
理系	理・工	238,433	1,111,240	154,990	1,504,662
	薬	334,717	1,427,708	311,125	2,073,550
	農・獣医	251,393	1,008,511	208,826	1,468,730
	平均	251,029	1,136,074	179,159	1,566,262
医歯系	医	1,340,379	2,670,071	1,097,202	5,107,652
	歯	599,454	3,267,136	631,960	4,498,551
	平均	1,076,278	2,882,894	931,367	4,890,539
その他	家政	240,706	828,378	186,041	1,255,126
	芸術	242,414	1,130,319	273,410	1,646,143
	体育	250,277	839,357	210,443	1,300,077
	保健	266,006	993,583	246,452	1,506,041
	平均	254,836	969,074	235,702	1,459,612
全平均		245,951	930,943	180,186	1,357,080

文部科学省調べ

最後に

大学入試は大きく変わっていると言われて久しく、10年前と比べても入試方式や大学自体は大きく変わってきています。

この流れは最低でもあと10年以上は続くと考えられています。（2035年に18歳人口が100万人を切る事がわかっており、そこに向けて各大学の淘汰はまだまだ続くと考えられています。）

とはいえ上位大学への入学が簡単になっているわけではなく現在の大学は明確に「二極化」が進んでいます。その中で「行ける大学」ではなく「行きたい大学」を目指すことが将来に向けて大事であることはいうまでもありません。

大学受験が簡単になっているわけではないですが、入試制度の変更に伴い、大学合格のチャンスが増えていることも事実です。この冊子をきっかけに自分の「行きたい大学」を見つけ、合格するためのチャンスを増やし、良い将来になるような戦略を練っていただければ幸いです。

こんな悩みを抱えていませんか？

- ✓ 勉強はやっているけど成績が伸びない・・・
- ✓ 自分に合った勉強法が知りたい・・・
- ✓ 勉強の計画だけでなく実行までサポートして欲しい・・・



その悩み、大学受験のプロである弘道塾にお任せください!!

【弘道塾の3つの特長】

1. プロによるマンツーマン直接指導

元大手予備校校長の塾長が、数学・物理・化学を個別に直接指導。

当塾は実力不問、一人ひとりの状況に合わせたスタートで、効率よく実力を伸ばします。

2. 将来を見据えた進路指導

単なる偏差値評価ではなく、生徒が将来やりたいことを見据え、医学・理・工・農・薬学部など、様々な「いきたい大学」への合格を全力でサポートします。

3. 集中できる安心・快適な環境

明るく開放的な自習専用のスペースいつでも気軽に質問・相談が可能です。駅から徒歩8分の好立地で、安全面も心配ありません。



【さらに充実のサポート】

- ✓ 教室見学は随時受付けております。
(保護者様もご同伴いただけます)
- ✓ 合格体験記を Instagram にて公開中
→ @oyama.kodojuku
- ✓ 進路相談に特に強み
(医学部・薬学部志望の方も多数相談)

【住所・連絡先】

住所 栃木県小山市駅東通り 1-7-22 海老沼ビル 2F

電話 050-3199-1755

メール kodojuku.master@gmail.com

アクセス JR 小山駅東口から徒歩8分